

# 令和5年度 市民病院事務局組織目標

<b>組織名</b>	市民病院事務局	<b>部長</b>	上所 美樹子
<b>組織の目的・方向性</b>	基本理念と基本方針にのっとり策定した新・中期計画に基づき、地域で必要とされる質の高い医療を安定して提供し続けるために、7対1看護体制を維持し、高度急性期・急性期機能を有する病院として、働きがいのある病院運営を目指しながら、健全な経営を推進します。		
<b>(参考) 関連する総合計画における政策指標*</b>			

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

## 市民病院事務局組織目標

適切な労務管理などにより医療スタッフを支えながら、病院の健全な経営を推進するために、市民病院事務局では、以下3点を重点目標とします。

### 重点目標

- 1 経常収支の早期黒字化を目指します。
- 2 医師の働き方改革を推進します。
- 3 未収金の発生防止と、徴収の強化を積極的に実施し、未収金を縮減します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

## 評価

	重点目標の達成状況	目標数	3	達成数	2
<b>取組結果</b>	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行によりコロナ確保病床が減少したため、病床利用率は上昇、単価も上昇し収益の大幅増につながったものの、人件費や材料費も大幅に増加したため、黒字化とはなりませんでした。</p> <p>医師の働き方改革推進については、年度途中から労働時間の管理体制を構築するなど重点的に取り組んだ結果、年間960時間を超えた医師は0名であり、目標を達成しました。</p> <p>未収金については、未収金対策定例会議の開催など納付勧奨の強化に努め、未収金額は減少し目標を達成しました。</p>				
<b>今後の方向性</b>	<p>中期計画よりも収支が大幅に悪化していることから、適正な執行管理や経営分析を踏まえた様々な方策を検討することで、計画期間中の黒字転換を目指します。</p> <p>医師の働き方改革推進については、令和5年度の達成を継続するため、年度替わり等医師の異動時期を中心に、各医師への制度の周知徹底と、院内の取組みの啓発を図ります。</p> <p>未収金対策については、関係部門と情報共有を図ることで未収金の発生を防止すると共に、納付勧奨の強化やきめ細かな納付相談対応により、診療費の未収金の縮減に努めます。</p>				